

P 計画の基本事項				
基本目標	3 読書ネットワークの充実			
施策	(2) 読書活動を支える人の活動の活性化			
施策の方向性	<p>学校及び保育所(園)・幼稚園等において子どもたちが、充実した読書活動が行えるように、活動を支える人材のスキルの向上を図ります。</p> <p>また、読書ボランティアについては、人材の発掘及び育成を継続するとともに、活動の場の創出のほか、活動が縮小している団体等を支援する体制づくりを行い、ボランティアの活動の活性化に取り組みます。</p>			
主な取組	①図書館司書のスキルアップ			
	②学校司書活動の充実			
	③保育士・幼稚園教諭等のスキルアップ支援			
	④読書ボランティアの育成			
	⑤読書ボランティア人材の発掘			
	⑥読書ボランティア活動の活性化			
	⑦読書ボランティアの交流の場と協力体制づくり			
成果指標	各種読書ボランティア講座の実施	策定時点	目標値(R9)	
		520人	530人	
D 令和5年度(具体的な事業実施状況調査より)				
評価指標	重点事業	指標	実績(R5)	目標値(R5)
評価指標	各種読書ボランティア講座の実施	年間実施回数	8回	6回
	読書ボランティア情報交換会の実施	年間実施回数	1回	1回
主な取組の実施状況及び今後の方針	①図書館司書のスキルアップ		達成状況	
	◆司書の能力向上のため、様々な研修に参加した。全員の参加はできなかったが、報告書等で内容を共有した。(まどかぴあ図書館)		②期待どおり	
	②学校司書活動の充実		達成状況	
	<p>◆学校の図書司書について、司書研修を1回開催した。今後は、研修会の開催回数を増やすことを検討する。(教育振興課)</p> <p>◆まどかぴあ図書館・小中学校図書室連携部会において、コミュニティ文化課から図書司書に本計画を周知した。</p> <p>◆学校司書等のスキルアップに向けて、県からの研修や講座の情報を随時学校に通知した。(教育振興課)</p> <p>◆まどかぴあ図書館と小中学校の連携部会を開催し、まどかぴあ図書館と学校の図書司書との意見交換や情報共有を行うとともに、まどかぴあ図書館が読書週間に発行する情報誌には学校司書のおすすめ本を掲載した。学校司書の要望により、今後はまどかぴあ図書館との連携部会を縮小し、市と学校司書との情報交換の時間を増やす。(まどかぴあ図書館)</p> <p>◆学校ボランティアに講座案内を送るとともに、選書相談や備品貸出を行った。学校ごとに利用状況に偏りがあったため、PRを</p>		②期待どおり	

	強化し、利用促進に繋げる。(まどかぴあ図書館)	
	③保育士・幼稚園教諭等のスキルアップ支援	達成状況
	◆日程などの理由により、ほとんどの保育園等が研修に参加できなかった。今後は研修の実施方法について検討するとともに、保育園等の積極的な参加を促す。(子育て支援課)	②期待どおり
	④読書ボランティアの育成	達成状況
	◆3種の読み聞かせボランティア向けの講座を実施したところ、受講希望者が多く満足度も高かった。(まどかぴあ図書館) ◆全ての講座を対面により実施した。ボランティア向けの講座は実技等を含むことが多く、対面が望ましいものが多いが、今後はオンラインで伝えられる内容を検討する。(まどかぴあ図書館) ◆ボランティア向けの講座やイベントについて、ボランティアが属する各施設にチラシを送付するとともに、まどかぴあ図書館のホームページ等に掲載した。(まどかぴあ図書館)	②期待どおり
	⑤読書ボランティア人材の発掘	達成状況
	◆読書ボランティアの募集情報「読書ボランティアへのおさそい」を配布するとともに、ホームページに掲載した。 ◆読書ボランティア募集のために、読み聞かせボランティア入門講座での呼びかけと情報誌「アテナ」への読書ボランティア募集案内の掲載を行った。今後は新たに SNS を活用する。(まどかぴあ図書館)	②期待どおり
	⑥読書ボランティア活動の活性化	達成状況
	◆読書ボランティアの募集情報「読書ボランティアへのおさそい」により読書ボランティア団体を周知するとともに、読書ボランティアによるコミュニティセンターでの絵本のおはなし会を企画した。 ◆読書ボランティア団体の垣根を越えて人材不足等の問題に対応するため、読書ボランティアネットワークの創設について検討した。令和6年度は、読書ボランティアネットワークの創設に向けてワークショップを開催する。 ◆読み聞かせ等を実施した読書ボランティアに対し、まどぶらポイントを付与した。 ◆読書ボランティアに対し、本計画の策定を周知するための文書を送付した。	②期待どおり
	⑦読書ボランティアの交流の場と協力体制づくり	達成状況
	◆読書ボランティア同士がそれぞれの意見や活動状況、課題等を共有できる情報交換の場として読書ボランティア情報交換会を開催した。 ◆読書ボランティア団体の垣根を越えて人材不足等の問題に対	②期待どおり

	<p>応するため、読書ボランティア同士のつながりについて考える情報交換会を実施した。令和6年度は、読書ボランティアネットワークの創設に向けてワークショップを開催する。</p>	
C 評価		
推進委員会 評価	◆「保育士・幼稚園教諭等のスキルアップ支援」について、保育士等が研修に参加できる環境を整えてほしい。	
検討が 必要な事項	◆保育士等が研修に参加できる環境の整備	
A 改善		
改善結果	◆研修の実施日程、方法等を検討し、保育士等が研修に参加できる環境を整える。	